

2017年 新年賀詞交歓会 杉森社長挨拶(要旨)

記者各位

当社(社長:杉森 務)は1月10日(火)、ザ・プリンス パークタワー東京(東京都港区)にて、特約店や物流協力会社の方々、約1,000名をお招きして、2017年新年賀詞交歓会を開催いたしました。当社社長 杉森 務の挨拶(要旨)を下記のとおりお知らせいたします。

記

全国の特約店および物流協力会社の皆様、明けましておめでとうございます。
2017年のスタートに当たり、JXエネルギーを代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年12月、東燃ゼネラルグループとの経営統合について、公正取引委員会および臨時株主総会で承認されました。今後、新会社が発足する4月1日へ向けて、統合準備を加速してまいります。本日は、新会社におけるエネルギー事業の基本戦略ならびに販売諸施策、そして新会社に対する私の思いをお話いたします。

1. エネルギー事業の基本戦略

JXTGグループにおいて、コアビジネスである石油精製販売事業が収益の柱であり続けるために、特約店様・販売店様への安定供給を前提に、以下3つに代表されるような抜本的な構造改革を強力に推し進めてまいります。

(1)最適な製油所ネットワークの確立

両社が持つ製油所の装置構成や地域別の需給状況などを踏まえ、製油所統廃合を含めた「あるべき将来像」を決定し、数年以内に最適な供給体制を実現いたします。

(2)製油所・製造所の安全・安定操業に関する改革

両社のノウハウを活用し、全製油所・製造所に横串を刺すための「操業管理の仕組み」を整備することで、安全・安定操業を確実なものにいたします。

(3)新しいIT基盤として「統合基幹業務システム(ERP)」の構築

システムの導入により、社内業務の標準化・効率化を図りコストダウンを徹底的に実施いたします。

2. 販売諸施策

4月1日より可能な限り販売体制を一本化し、「公平・公正な販売」や「統合シナジー」を実現いたします。とりわけ、SS競争力強化は新会社の重要なテーマであり、両社とも様々な仕組みを有しており、皆様のニーズに合った新しい有効なご提案が出来るものと確信しております。一方、カードやPOSシステムについては、当面併存せざるを得ませんが、一刻も早く一本化できるよう努めてまいります。また、統合初年度については、元売および特約店様が一体感をもって取り組むことができるキャンペーン等を積極的に検討していきたいと思っております。

3. 新会社に対する思い

統合シナジーの最大化に向け、考え方や風土、戦略や施策、制度やルールにいたるまで、あらゆるものを積極的に「変革」していく必要があります。この「変革」を実行するにあたり、以下3つの条件があると考えております。

(1)抜本的な変革

過去の手法に囚われず、未来のあるべき姿を目指して、抜本的な変革を実行する必要があります。

(2)スピーディーな変革

業界環境は激変しており、スピード感のある変革を進める必要があります。

(3)不断の変革

常に、変わり続けるための社風や文化を新会社に根付かせる必要があります。

私は、石油業界を取り巻く厳しい環境を決して悲観しておりません。激しい競争に勝ち残りさえすれば、十分な利益を得ることができ、特約店様、販売店様が将来にわたって繁栄していけるものと確信しております。「抜本的な変革」、「スピーディーな変革」、そして「不断の変革」を皆様と一体となって推進することで、この繁栄を勝ち取るうではありませんか。

「変革」を推進する一方で、脈々と引き継いでいかななくてはならないものがあります。それは、「対話」を通じた特約店様、販売店様との信頼関係です。統合後も「対話」重視の経営スタンスは何も変わりません。引き続き、皆様とは、徹底的にかつ前向きに議論し合い、これまで以上に信頼の絆を深めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。

振り返ってみれば今日という日が新しいエネルギー業界の幕開けになったと笑顔で語り合える日が来ることを祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

